

横浜市（馬場保育園）福祉サービス第三者評価 評価結果総括表（保育分野）




事業所	横浜市馬場保育園
報告書作成日	平成30年3月29日（評価に要した期間 約6か月）
評価機関	公益社団法人 けいしん神奈川



評価方法


自己評価 （実施期間：29年9月28日 ～29年10月10日）	職員全員が自己評価票に基づいてそれぞれ評価を実施し、その後6つのグループに分かれ、園としての自己評価について検討を進めた。さらに、全体会議で審議しつつ園長が取りまとめ、結果を職員全員で共有した。
評価調査員による評価方法 （実施期間：29年11月8日、9日）	評価調査員（3名）が現地視察、書類確認、職員面接ヒアリング調査（園長、主任保育士、保育士）を行った。職員ヒアリングは2日目の午睡時に乳児担当と幼児担当、調理担当者等の3グループ別を実施した。
利用者家族アンケート実施方法 （実施期間：28年9月26日 ～10月10日）	全利用者（園児）の保護者に事業者（園）から手渡し、無記名にて記入していただき、クラスごとに回収箱にて回収した。
利用者本人調査方法 （実施日：29年11月8日、9日）	観察調査は、主に各クラスおよび園庭にて実施した。聞き取り調査は、幼児を中心に、保育中（昼食時を含む）に実施した。

評価結果


評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 保育方針に「こどもの健全な心身の発達を図る」を掲げ、保育目標や保育姿勢においても、子どもを第一に考え、尊重した内容になっています。 • 保育の理念や基本方針は国の保育指針が変わった時都度、見直しをしており、また年度初めに全職員で議論し、全員納得の上決定しています。この過程で利用者本人を尊重したものになっています。 • 年度末の職員会議で、正規職員全員で保育方針の振り返りを実施し、見直し、修正する仕組みはできています。アルバイト、福祉員も含め、保育会議で保育課程に沿った保育が実践されたかを振り返り、次年度に向けて内容の確認および見直しをしています。 • 保育課程も年度末に振り返りを実施し、それをもとに次年度に向けて内容の確認及び見直しを行い、それに基づいて作成される保育計画は、利用者の就労・文化・宗教の背景の事情が様々であることを理解し、作成しています。 • 保育課程に基づき、年齢ごとに指導計画を作成している。指導計画作成の際には、子どもの興味関心に沿った内容になるよう配慮しています。 • 乳児リーダー、幼児リーダー、福祉員リーダーを決め、それぞれ月2回の会議で意見交換を行い、子どもの自主性や主体性を育て、発揮できるような指導計画となっており、計画には柔軟性を持たせています。
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 入園説明会で面接シートを利用し、一人ひとりの状況を把握している。入園後はこの情報を職員間で共有し、理解を深めている。転園者は必要に応じて前園と情報交換をしています。 • 入園面談シートは年齢ごとに作成され、常に情報を確認できるように保管されています。 • 短縮保育（ならし保育）が必要な場合は保護者への説明を十分行っています。 • 1、2歳の新入園児に対しては個別に主担当保育者が決まっています。 • 一人ひとりの状況に合わせて持ち物の持ち込みを許可しています。 • 乳児は全員、幼児は必要に応じて個人ノートを利用しています。 • 入園児が加わっても、在園児が落ち着いていられるよう支援できる態勢ができています。 • 子どもの発達や状況に応じて指導計画の作成・評価・見直しを行っています。 • 毎月の保育計画会議ではアルバイト職員にも参加してもらい、周知しています。 • 保護者から上がってきた意見は、毎日のミーティングの中で周知し、ミーティングノートに記入し、必要に応じて早急に対応策を検討しています。
<p>I-3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 保育園の屋内・外とも、常に清掃が行き届いています。 • 施設の老朽化に伴い、下水道の配管等の臭いが季節によって強く感じられる時がある。園として喚起・通風をよくし、故障時は迅速に対応し、修繕が必要なものは迅速に修繕してもらえるようにしています。園努力を超えた対応が必要と思われます。 • 施設内の温・湿度の管理が日々適切に行われている。 • 陽光を十分取り入れるよう配慮しています。 • 音楽や保育者の声などが騒音にならないよう、配慮しています。 • シャワー利用時はシャワーカーテンを使い、他児からは見えないようにしています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭のシャワーでは目隠し用のカーテンや、覆いを使い外部から見られないようにしています。 ・トイレ、プールでは塩素管理をしている。プールはスポンジタワシで毎日洗っています。 ・1, 2歳児は同室になっているが、状況に応じて年齢別保育ができるように室内を区切って利用しています。 ・ホールはないが、日時を決め交流の場を持てるようにしています。 ・年長児が乳児のお手伝いをして交流を深めています。 ・午睡明けから午後の間食の時間までの間に、歌やダンスなどで全園児の交流時間を持っています。
<p>I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児については、個別指導計画を作成しています。一時的に課題配慮がある場合は、個別配慮欄を活用しています。 ・幼児についても、特別な課題がある場合には、個別指導計画を作成しています。 ・必要に応じて保護者へは確認を取り、保育計画に反映できるようにしています。 ・こどもの状態を職員同士で必ず、確認をして保育計画に反映させています。 ・個人ノートや面談で保護者と確認したことを保育計画に反映させています。 ・全園児の情報が一括して事務所に保管され、必要な情報は常に職員が閲覧できるようになっています。 ・必要に応じて各機関と連携を取り、記録を作成しています。 ・面談記録や、個別記録（経過記録）を作成しています。 ・必要に応じて、臨時的記録も作成しています。
<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画は、アルバイトを含む担当者間で検討し、保育計画会議内で周知しています。 ・区での要配慮児の研修が定着していますので、職員が参加し、記録の取り方や対応の仕方などの研修を受け、全職員へ伝達しています。 ・東部地域療育センターや保健師・ケースワーカーらと連携を取り、専門知識やアドバイスを受け対応をしています。 ・東部地域療育センターの巡回訪問を定期的に受けています。 ・共有する情報は記録され、いつでも確認できるようファイリングされています。 ・バリアフリー化は遅れていますが、トイレの手すりなどを付け対応しています。今後乳幼児や障害児用の段差対策が必要と思われます。 ・保育計画会議へはほぼ全職員が参加しています。 ・今後はさらに詳しいケース会議が必要と思われます。 ・必要に応じて療育センターや医療機関に相談や質問をしています。 ・総合保育の中で、子どもたちが障害を特別なことだと思わず、一つの特徴、一つの個性として自然に受け入れられるように接しています。 ・「虐待防止マニュアル」があり、虐待の定義が全職員に周知されています。 ・必要と思われる情報は、職員にミーティングや会議でほぼ定期的に伝えていきます。場合により緊急のミーティング等で周知しています。 ・療育センターや児童相談所、区のケースワーカーや保健師と連絡を密にし、対象児や家庭について随時職員間で情報交換しています。 ・過去3年間のアレルギー疾患受け入れ状況（一時保育での受け入れを含む）：卵、乳製品、甲殻類アレルギー児が複数名ほぼ毎年在籍。 ・慢性疾患がある子どもの場合はその子のかかりつけ医の指示を受け、適切な対応を行っています。 ・横浜市作成のアレルギー対応マニュアルに沿って対応を実施しています。 ・毎月の給食メニュー確認を保護者、調理員、担任、園長（または主任）で実施しています。 ・アレルギーのある子には食具を他児と変えるなどわかりやすくし、誤食のないようにしています。

	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の日本語習熟度に合わせ、日々のクラスノートや書類にルビを付けています。 保育園用の外国語に翻訳された冊子を用意しています。(区内) 個別に口頭での説明を行っています。 区役所を通して、通訳をお願いすることができます
I-6 苦情解決体制 	<ul style="list-style-type: none"> 苦情解決委員の連絡先を掲示しています。 苦情解決委員を行事の際に保護者に紹介しています。 保護者に対して、日常会話や家庭での生活状況についての情報交換および意見箱・懇談会等で進んで要望や苦情を聞いています。 アンケートを受け対応しています。 第三者委員を交えて対応する仕組みができています。 行事ごとのアンケートは集計をだし、公表し検討改善しています。 年度末の自己評価アンケートを公表し検討改善しています。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
Ⅱ-1 保育内容 [遊び] 	[遊び] <ul style="list-style-type: none"> おもちゃや絵本などについては、保育計画会議や各クラスからの要望、意見を反映し、購入、整備、入れ替えを実施しています。取り出しや、片付けがしやすいように、見えやすく手の届く棚に収納しています。 衝立や移動式の棚でフロアを仕切り、積み木やごっこ遊びなど、遊びの特性や年齢や遊びに合ったスペースの確保、個人差の考慮や集団遊びとのバランスなど、環境づくりに努めています。 蚕、ダンゴ虫、ミミズなどを各部屋で飼育し、生き物に対する慈しみの心を育てています。また、園庭で、稲、サツマイモ、枝豆などを栽培し、食材として活用することにより、食育の一環としています。 近傍には花木園など自然豊かな公園もあり、天気の良い日は努めて散歩に出るようにしています。公園でのびのびと走り回り、自然に触れることで体力の向上、豊かな心の育成を図っています。散歩の行き帰りにお会いする地域の方々に対し挨拶し、マナーを身に着け、社会性を養っています。 リズム運動は音の強弱やテンポを年齢に合わせ、歌や踊りについても年上の子の真似をし、学ぶことから始まり、自分なりのものを取り入れ、自由な気持ちを表しています。お絵描きや粘土、楽器なども子どもの気持ちに合わせて幅広く対応しています。 少人数の保育園で、皆兄弟のような雰囲気の中で日々過ごしています。けんかなどは殆どありませんが、稀にあっても保育士が両方の言い分をしっかり聞きながら、納得させ、わだかまりが残らないようにしています。 毎月1回「仲良しデー」に加え、仲良しタイムを設け、幼児でグループを作り一緒に遊んだり、ランチを食べたりして交流を図ることにより、年下の者に対するいたわりや年上の者に対する尊敬や憧れの心を育てています。 園庭を有効に活用するため、使うクラスを計画的に決め、他のクラスは努めて外へ出て、自然に親しみ、のびのびと遊べるように努めています。外へ出る際は、UVカットの垂れ付きの帽子を着用し個別の対応で長袖の衣類を着用するなど、健康管理に気を配っています。 年に3回体育指導員を招聘し、年齢に合った遊びや運動の指導を受け、保育に反映しています。

Ⅱ－１ 保育内容

【生活】



【生活】

- ・食事は各部屋の中央に出来るだけテーブルを寄せ、みんなで楽しく話をしながら食事をしています。行事の時にはBGMを流したり、バイキングの時はレストランのように飾り付けを行うなど、雰囲気作りに努めています。
子どもたちが無理なく、喜んで食べるように、味付けはもちろん、混ぜる、のせるなど盛り付けや、型抜きを使った切り方なども取り入れたり、種々の工夫をしています。
- ・給食時に調理員が各部屋に行き、子どもたちと交流する中で食に関する話をしたり、トウモロコシの皮むきなど子どもが調理にかかわることで食への意欲に繋げ、食育に貢献しています。区内公立園4園の職員が集まり、食育研修を行い子どもたちに啓蒙できるものを提供しています。
- ・食材は市が定めた基準に則り、厳しいチェックのもと受領しています。食器についてもひび割れや傷をチェックし、発見した場合はすぐに交換しています。また乳児、幼児は箸やスプーン、器の大きさなど使い勝手を考え、年齢に合った食器を揃えています。
- ・担任の保育士に加え、調理員も毎日各部屋を回り、子供たちの喫食状況を把握し、食べ残しが多かったり、何か問題があった場合はミーティングで取り上げ、メニューや食事の出し方など幅広い視点から検討し、改善を図っています。
- ・家庭との連携が容易なように、毎月末、保護者に翌月の献立を配布しています。保護者が保育士体験の時に試食してもらうなどして、家庭での食事の参考にしてもらっています。
- ・パクパク便りを部屋に掲示し、献立について子どもたちが関心を持つように活用し、保護者に対してサンプルを掲示し、日々の食事の状況を周知しています。
- ・乳児については、温度、湿度、採光などに気を配り、場所を選ぶ子にはできるだけ部屋の中の好きなところで午睡・休憩を取らせています。午睡の間、プレスチェックをチェック表に基づき、市の基準よりも細かくチェックしています。
- ・幼児については眠らない子もいますが、努めて布団の中で体を休めるようにし、あるいは別の部屋で静かにしているようにしています。年長児については逐次午睡の時間を短縮し、小学校入学に備えています。
- ・排泄については本人の気持ちに沿って進めています。
降園時に保護者に様子を伝え、「焦らずゆっくり」を基本として対応しています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理







【健康管理】

- ・健康管理についてはマニュアルを作成し、それに基づいて的確な実施に努めています。入園時にぜんそく、けいれん、かぶれやアレルギーなどについて聞き、個人ごと注意すべき点を把握しています。年度当初の保育説明会で登園停止基準や連絡を入れる基準など保護者が承知すべき事項をしっかり説明し周知徹底を図っています。
- ・日常の保育では、毎朝、保護者から家庭での状況を個別に聞き、注意すべき子どもについては引継簿やクラスノートに記入し他の職員に伝達、情報の共有を図っています。
- ・健康診断、歯科健診はともに年2回実施され、結果は身体測定カードに記録され、事務室の書庫に保管されています。職員は日常の保育で必要な場合は随時閲覧・確認でき、時間外は施錠されています。
- ・年2回の診断の前には保護者から園医に対する質問を受け付け必要に応じ、掛かりつけ医からの伝達事項を保護者を通して聞いています。
- ・感染症に関する知識や流行の状況について、ミーティングで情報共有すると共に、クラスにも掲示し保護者に情報を提供しています。



Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理

【衛生管理】


- ・マニュアルを作成し、見直しは年1回定期的に会議で行い、また、必要に応じ随時実施しています。



<p>全管理 [衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理に関する研修に担当者を参加させ、終了後に全員に普及教育を実施し、知識・技能の共有を図っています。 ・清掃についてはチェックリストを作成し、それに基づいて毎日行っています。特にトイレは細かいチェック項目を設け、入念な清掃及びチェックに留意しています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<p>[安全管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故防止マニュアルと災害対応マニュアルを分けて作成し、職員にはミーティング等で周知し、慌てずに行動できるようになっています。 ・乳児室については耐震補強工事など対策を強化しています。 ・毎年実施される区主催の防災研修に正規職員が参加すると共に、区内の救急救命法の研修へも職員が参加し、園内で普及教育を行い、全職員に周知を図っています。 ・散歩も兼ねて園児が近隣の市立東高校へ出向き、合同避難訓練を開催しています。 ・緊急連絡体制も一斉メールなど複数の手段が整備・確保され、救急機関は診療科別にまとめ、すぐにわかるようにしてあります。
<p>Ⅱ－３ 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育計画会議やミーティングなどで、子どもの呼び方や気になること、気付いたことについて話し合い、相互に伝え合い子どもの人格尊重に配慮しています。子どもの話を聞くときには子どもと目線を合わせて話すことを心がけ、あだ名や呼び捨てにしないように注意しています。声の大きさやトーンにも気を付けています。 ・必要に応じてプライバシーが守れるようにカーテンや衝立で部屋を仕切り、あるいは場を変えたりして落ち着けるようにしています。 ・幼児トイレではシャワー使用時はシャワーカーテンを使用してプライバシーに配慮しています。 ・園内研修を行い守秘義務の意義や目的、個人情報の取り扱いについて全職員に周知し、ボランティアや実習生には事前のオリエンテーションにて守秘義務の目的や意義を周知しています。 ・職員及び子どもでも性差が見られる発言や活動などがあった場合は、気付いた職員がその都度伝え、固定観念が植えつけられないようにしています。また、ミーティングなどで報告・相談し対策をとっています。
<p>Ⅱ－４ 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の保育の基本方針については入園時に「入園のしおり（重要事項説明資料）」により保護者に説明し、その後は年２回の懇談会、保育士体験などの機会を捉え、その都度丁寧に説明し、理解を深めるように努めています。また、園便りにも年２回掲載し、上記の説明を補完しています。 ・日々の送迎時の口頭による連絡、クラスノートでの情報交換に加え、個別面談を年１回計画・実施し、詳しい情報の交換に努めると共に、意見や要望を伝えやすい環境を作っています。 ・保護者から個別に相談を受けた時はプライバシーに配慮し、事務室または適宜の場所を確保しています。出来るだけ幅広い視点から対応できるように複数の職員が応じています。 ・園生活に関する情報提供として、保護者会へはプライバシーに配慮しながら定期的に日常写真のデータを提供しています。 ・行事前に保護者にお便り等を出し、多くの方に参加して頂くことに努め、終了後はその様子を写真入りで掲示しています。 ・保護者の保育参加を進めるため、園だよりに翌月の予定に入れ、近づいた時期に再度ご案内を行っています。必要に応じ、個別に声掛けをしています。 ・保護者会の活動を支援するため、園舎の使用を提供し、また状況に応じ活動にも協力しています。

評価領域Ⅲ 地域支援機能



評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 交流保育や育児講座に参加した方のアンケート、近隣のケアプラザ（東寺尾、寺尾、馬場）や近隣の保育施設と連携した出張保育や育児相談、地区センターで開催される赤ちゃんカフェや育児サロン、園庭開放（毎週火・水・木曜日）に参加した親子などからの相談などで、地域の子育てニーズを把握しています。 近隣のケアプラザの職員や年長交流で知り合いとなった近隣の保育園・幼稚園の保育士との間で、情報を共有し、保育ニーズを確認しあっています。 交流保育（年7回）、育児講座（年2回）、一時保育、園庭開放（毎週火・水・木曜日）、プールの開放（7月～8月）、近隣ケアプラザへの出張保育（年12回）、絵本の貸し出し、育児相談などのサービスを行っています。 地域の保育ニーズを踏まえて、保育計画会議や職員会議で振り返り、翌年度の計画に反映させるようにしています。 育児相談及び園見学は随時受け付けています。 横浜市立東高校の家庭科目や白鵬女子高等学校保育コースには、保育士体験の場を提供しています。
<p>Ⅲ-2 保育所の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ケアプラザでのチラシ配布、交流保育・育児相談などを実施した時のチラシ配布、保護者に毎月園だよりの配布、近隣の方には職員による園だよりの配布などで、地域住民へ情報を提供しています。 園を訪れた方には、必要に応じて随時育児相談に応じています。 必要な関係機関・地域の団体等はリスト化され、事務所内に掲示してあります。関係機関との連携は、園長、主任、育児支援担当職員で対応しています。 ネグレクトや子育てが不十分などの児童虐待が推測された場合は、児童相談所、鶴見区福祉保健センターとケースカンファレンスを開催します。


評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅳ-1 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣との友好関係を築くため、園だよりを毎月職員が配布し、どのような行事があるかを周知しています。 お正月遊びやレクリエーション活動時には、地域住民を招待しています。レクリエーション活動では、近隣に住む方の力をお借りしています。例えば、マジックを見せていただいたり、竹とんぼの飛ばし方などを教えていただいています。 園のプールは、7月～8月の約1カ月間3歳児までのお子さんに開放し、たくさんのお子さんが水遊びで楽しんでいます。 絵本は、地域の方が毎日借りに来ており、貸出件数は月に30件ぐらいになります。 お散歩で、馬場花木園、白幡公園ログハウス、三ツ池公園、近隣の公園などに単独で行く、又は近隣の保育園や幼稚園と交流しています。 近隣にあるみゆき商店街に出かけたり、地域のお祭りである「雛のつるし飾りまつり」（馬場の赤門公園、3月3日開催）に参加するなど、地域との交流も深めています。



	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携は、馬場小学校や上寺尾小学校との間でなされており、小学校就学前の見学などを行っています。馬場小学校の和太鼓クラブの学童が遊びに来たり、園児が運動会に参加するなど交流を深めています。 ・上寺尾小学校の防災訓練には、園長が参加をしています。 ・横浜市立東高校は一時避難場所に指定されています。園の避難訓練は、東高校の学生に園まで迎えに来ていただき、東高校のグラウンドへ避難することになります。東高校が防災訓練をする時には、園も参加して、防災訓練のレベルを上げるようにしています。 ・保育の教育授業の場（年10回以上）を、横浜市立東高校の家庭科目・白鵬女子高校保育コースの生徒に対し提供しています。
<p>IV-2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス内容等の情報提供は、横浜市が提供している「ヨコハマはびねすぽっと」や企業が提供している「働くママ応援し隊」のホームページによる情報提供、近隣の方には園だよりを配布することによる情報提供、園を訪れた方にはパンフレットや園だよりを渡すことで、情報提供などを行っています。 ・「働くママ応援し隊」のホームページからは、「横浜市保育所等利用案内」が開かれるようになっており、必要な情報が分かるようになっています。 ・サービス内容等に関する電話での問い合わせに対しては、パンフレットに沿った形で説明をし、直ちに返事が出来ない場合は、確認の上、折り返し電話をするようにしています。 ・見学を希望する場合は、保育に支障をきたさない範囲で曜日や時間など希望者の要望に対応しています。希望日時に合致出来ない場合は、園庭開放日をお知らせして、来園を促すようにしています。
<p>IV-3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア・研修生・実習生の受け入れでは、「実習生・研修生・ボランティア受け入れ」のマニュアルが整備されており、オリエンテーションで「やってもらいたいこと、やってはいけないこと」を説明しています。 ・職員にはボランティア・実習生の受け入れの趣旨を説明し、保護者には園だよりなどで受け入れ期間の予定と実際に受け入れたことをお知らせしています。 ・ボランティアの受け入れは、社会福祉協議会を通すこと（保険加入など）で、ボランティア希望者の安全に配慮しています。 ・ボランティアとボランティア育成担当者間で、毎日、帰りのミーティングで活動の振り返りをし、最後の日には反省会を催します。ボランティア活動の感想文が学校から届けられ、今後の保育活動の参考にしています。 ・実習生は、学校で定められた日誌に記載し、受け入れ担当者との間で振り返り、受け入れ担当者が日誌にコメントを記載し、持ち帰る仕組みになっています。最終日には反省会を催します。実習の途中で、実習生を派遣している高校の担当職員が来ますので、実習生の様子や保育に関する情報などを交換しています。 ・企業からも「子育て支援員」の研修を、高校の実習性と概ね同じ要領で受け入れています。


評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市の長期育成ビジョン及び中期計画に基づいて、正規職員である保育士の採用・補充をしています。必要に応じて、非正規職員を雇用するようにしています。 ・保育理念・保育方針・園の目標に沿った保育サービスができているかを、年度末に掲示する園の自己評価に対する保護者からのアンケートで確認し、次年度の改善目標をたてます。その改善目標を、各職員の人材育成目標にブレークダウンします。 ・人材育成は、横浜市保育士キャリアラダーの目標共有シートに沿って行います。職員は前年度の振り返りに基づき、年度初めの4月頃に園長と面談して目標を立案し、11月に目標の遂行状況を園長と面談して振り返り、2月には目標の遂行結果を踏まえた評価が園長との面談で伝えられます。 ・研修担当者が研修計画を作成し、個々の職員のニーズに応じた研修を受講するようにアドバイスをしています。目標共有シートに記載してある研修なら自動的に受講できるように業務を配慮し、研修担当者が業務遂行上必要と判断すれば、受講するようにアドバイスをしています。内部研修が定期的実施され、非常勤職員も受講できる仕組みになっています。 ・外部研修を受講した内容によっては、研修報告を書面で行います。例えば、アレルギー対応などは日々新しくなっており、研修を受講した内容によっては必要に応じ、マニュアルを更新しています。 ・非常勤職員にも業務マニュアルが配布され、それに沿った保育活動をしています。 ・非常勤職員は正規職員と組み、日常、きめ細かなコミュニケーションをとり、指導されることで、保育技術の向上が図られています。 ・非常勤職員は外部研修にも参加し、報告書を提出することで、情報の共有化が図られています。
<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の自己評価は、園の目標に沿った保育サービスの結果を定められた書式に記載し、年度末に掲示します。保護者は、掲示された園の自己評価表を見て、アンケートで評価する仕組みとなっています。 ・事例研究会や勉強会は、午睡の時間帯にしています。改善例として、2歳と1歳を同じ部屋で保育していましたが、発達の違いを考えて、部屋を区切り1歳児と2歳児を分けて保育するようにした例があります。 ・年4回公開保育を実施して、公立、民間の保育施設の保育士と意見交換を行うことで、園の保育に役立てています。 ・体育協会の指導員の方に来ていただき、跳び箱の指導をしてもらいました。 ・東部地域療養センターの療育相談の巡回訪問を受け、障害児等に対する技術援助指導受け及び相談を行っています。 ・クラスの年間保育計画、月間保育計画に基づき、職員自ら目標共有シートに毎月、自己評価を書き込み、振り返ります。 ・自己評価が、計画で意図した保育となっているか、子どものそだちや意欲、取り組む過程などを重視しているかを、毎月の保育計画会議のなかで確認し、改善点があればその後の保育計画に反映させています。 ・クラスの自己評価は、毎月の保育計画会議や職員会議において、お互いに報告し合い、課題を明確にして、さらなる改善を目指します。 ・保育所の自己評価は、保育士等の自己評価も踏まえ、職員全員で意見を出し合い、自己評価に取り組んでいます。

<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市保育士キャリアラダーには、経験・能力や習熟度に応じた役割が期待水準として明文化されており、職員に本資料およびその手引書を配布しています。 年度初めに、本人の意向を確認しながら、業務分担表を発行し、権限を委譲します。権限を委譲された職員は、自主的に行事などの業務計画を立て、遂行します。途中で、他の職員の意見をもらいながら、計画を実行します。 行事などが終了すれば反省会を開き、主担当した方の意見、その行事に関わった方の意見などをまとめます。反省会を踏まえ、来年度の計画を職員会議で討議します。 職員の満足度・要望は、目標立案時の年度初め、目標の遂行状況を確認する11月頃、評価を伝える年度末の最低3回、園長と面談をすることで把握しています。
---	--

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の守るべき規範は、職員サービス規程・全国保育士会倫理綱領に明文化され、職員に周知し、公務員として守るべき倫理を遵守しています。 コンプライアンス研修には必ず1名以上が参加し、参加者からの報告を受け、受講内容を職員が確認するようにしています。 他施設での不正・不適切な事案が起きた場合には、それを題材とした研修を行い、ヒューマンエラー防止対策などを講じています。特に、給食事故報告は、ミーティングで伝え、同じ事故が発生しないように直ちに改善しています。 無断駐車がある場合は、園だより等で啓発しています。 ゴミの減量化・リサイクルは、担当者を決めて促進しています。廃油から石鹸を作る、細かな分別方法を掲示して分別に困らないようにする、裏紙を使用するなど、ゴミの減量に取り組んでいます。 環境創造局の出前講座 着ぐるみショー（ミーオ・イーオ・シボレンジャー）を実施し、子どもも分別ができるようにしています。 環境への考え方、取り組みは、3R夢プランのなかで、明文化しています。 省エネの促進・緑化の推進のために、電気家計簿・水道家計簿を導入し、資源の節約に取り組んでいます。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 保育理念や基本方針等は、保育課程に明示され、職員全員が周知しています。 園目標や保育姿勢は、チラシや事務室などに掲示されており、職員全員が周知しています。 保育理念や基本方針等について、ミーティング、会議等で周知し、理解を促すための説明をしています。 職員・実習生・ボランティアが保育理念や基本方針を理解しているかを、毎月の保育会議で確認し、不十分な場合や誤った理解をしている場合はアドバイスをしています。 保育指針の変更に合わせて改定する考えであり、改定する際は全職員でプロジェクトを組んで検討します。 園長は、年度初めと終わりの2回は必ず、保護者会と意見交換をしています。保護者会からの出席依頼があれば、必ず出席するようにしています。都合がつかない場合は、主任を代理出席させています。 重要な意思決定をする際は、職員や保護者会の意向を十分尊重しています。事例として、保護者から提案された「朝の7時～7時30分、夕方の18時30分～19時の園舎内への入退場を職員玄関口に限る」を、職員

	<p>会議で討議した結果、防犯上の理由で有効であると判断し、実行していません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第三者評価の受審では、福祉員・調理の方も含めて、叩き台を作成し、全職員で討議しました。 横浜市には、保育士キャリアラダーがあり、それを照らし合わせながら主任クラスを育成しています。
<p>VI-3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 鶴見区こども家庭支援課や横浜市こども青少年局との連携、鶴見区の施設長会議、保育施設所責任職会議、児童相談所、幼保小連絡会などで、事業運営に影響のある情報を収集・分析しています。 近隣教育施設との交流を盛んにし、地域の高齢者などと異世代の交流を持つことで、地域の情報を収集・分析しています。 職員間で情報を共有するために、1日3回のミーティング、毎月実施する職員会議、保育計画会議があり、その他にも各種会議があり、情報の伝達漏れが無いようにしています。 運営面での重要な改善課題については、保育計画会議で全職員に周知し、保育所全体の取組みとしています。討議が不要な場合はミーティングで周知しています。緊急を要する場合はその都度会議を開いています。

家族アンケート

〔結果の特徴〕

◆実施方法

- ・保育園から全園児の保護者に配布し、無記名にて回答。
- ・評価機関が設置した回収箱に各保護者が投函し、評価機関が回収。

◆配布数：73 回答数：61 回収率：83.6%

◆園の基本理念や基本方針について、「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の割合は合わせて59%で、その基本理念や基本方針について、「賛同できる」と、「まあ賛同できる」と答えた保護者を合わせた割合も62.3%の保護者の賛同を得ています。

◆各項目の中で、満足度の割合が比較的高かった項目（「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合が90%以上）は下記のとおりです。

○保育園のサービス内容について

- ・保育園での1日の過ごし方についての説明について（91.8%）

○日常の保育内容について

「生活」

- ・お子さんの体調への気配りについて（90.1%）

○職員の対応について

- ・あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについて（91.8%）

◆各項目の中で、満足度の割合が比較的低かった項目（「不満足」と「どちらかといえば不満足」を合わせた割合が20%以上）は下記のとおりです。

○保育園の快適さや安全対策などについては

- ・施設設備について（45.9%）
- ・外部からの不審者侵入を防ぐ対策については（39.4%）
- ・感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については（29.5%）

○園と保護者との連携・交流について

- ・保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会について（26.2%）
- ・お子さんに関する重要な情報の連絡体制について（26.3%）
- ・開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応について

（21.3%）

○職員の対応について

- ・意見や要望への対応について（29.5%）

◆自由意見について

○保育園に対する御礼や感謝のコメントが寄せられましたが、一方で施設の老朽化に伴う改善要望や感染症の発生状況や注意事項などの情報提供、保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会、意見や要望への対応などの項目についての改善要望がありました。

◆まとめ

○総合満足度は86.9%となっています。

○「保育園での1日の過ごし方についての説明」や「お子さんの体調への気配りについて」に対する満足度が高く、お子さんの園での生活について安心感の表れと思われます。また、施設の老朽化や園と保護者との連携・交流については引き続きの改善努力が必要と思われます。

利用者アンケート集計結果

■保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか。	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
	8	28	14	7	3	1	61
	13.1%	45.9%	23.0%	11.5%	4.9%	1.6%	100.0%

(付問) あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	共感できる	まあ共感できる	どちらともいえない	あまり共感できない	まったく共感できない	無回答	計
	22	16	0	0	0	23	61
	36.1%	26.2%	0.0%	0.0%	0.0%	37.7%	100.0%

■保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れ方については	30	18	2	0	11	0	61
	49.2%	29.5%	3.3%	0.0%	18.0%	0.0%	100.0%
	その他 ・見学していない。(他9件) ・上の子がいたため見学なし。						
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	30	23	3	1	4	0	61
	49.2%	37.7%	4.9%	1.6%	6.6%	0.0%	100.0%
	その他 ・見学しませんでした。 ・見学せず入園 ・覚えてない。 ・上の子がいたため見学なし。						
園の目標や方針についての説明については	29	24	5	1	2	0	61
	47.5%	39.3%	8.2%	1.6%	3.3%	0.0%	100.0%
	その他 ・あまり覚えていない。 ・見学せず入園。						
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	29	23	5	1	3	0	61
	47.5%	37.7%	8.2%	1.6%	4.9%	0.0%	100.0%
	その他 ・よく覚えていない。 ・あまりよく覚えていない。 ・なかった？						
保育園での1日の過ごし方についての説明には	25	31	3	0	1	1	61
	41.0%	50.8%	4.9%	0.0%	1.6%	1.6%	100.0%
	その他 ・おぼえてない。						
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	26	26	3	2	3	1	61
	42.6%	42.6%	4.9%	3.3%	4.9%	1.6%	100.0%
	その他 ・説明がなかった。 ・特になかった。						

問3 保育や行事の年間計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事の	17	35	7	1	1	0	61

説明については	27.9%	57.4%	11.5%	1.6%	1.6%	0.0%	100.0%
	その他						
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	11	23	14	6	7	0	61
	18.0%	37.7%	23.0%	9.8%	11.5%	0.0%	100.0%
その他 ・保護者会を使って楽をしようとする所が見受けられる。保護者の要望を聞く機会なし。 ・入園して初年度なのでよくわからない。 ・要望が言えるか、あるかわからない。 ・職員の励みを優先されていないだろうか!?夏祭りの要望、運動会は学校借りたら?どちらもいかされていない。 ・全く要望をきいていない。							

問4 日常の保育内容について

「遊び」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	22	31	6	1	1	0	61
	36.1%	50.8%	9.8%	1.6%	1.6%	0.0%	100.0%
その他							
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	23	26	8	1	3	0	61
	37.7%	42.6%	13.1%	1.6%	4.9%	0.0%	100.0%
その他 ・外遊びが毎日できていない。決まりが多すぎる。 ・園外へのお散歩が少ない。 ・外遊びが毎日できていない、だめが多すぎる。 ・しらない。							
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	28	26	5	0	2	0	61
	45.9%	42.6%	8.2%	0.0%	3.3%	0.0%	100.0%
その他 ・パズルなど決まったものが多い。2歳児でも大きな差がある。2歳はこれと決めつけなくてもっと色々与えてほしい。 ・自由に使っていかかわからない。 ・朝夕の活動は、特に満足、自分に合ったものとバリエーションが多く、お子さんたちが選びやすくなっている。 ・保育士がえらぶおもちゃばかりでなく、年齢以上の子もいますので、選択させるとか、親の意見をきくとかもありかと。							
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	27	25	9	0	0	0	61
	44.3%	41.0%	14.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他 ・2歳でバギーはないと思いますが。もっと大胆にするべきでは。							
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	25	27	7	0	1	1	61
	41.0%	44.3%	11.5%	0.0%	1.6%	1.6%	100.0%
その他 ・保育士、笑い教えない人いる。声かけもちょっと前から思っていること。 ・グループ決めが固定化されている。もっとシャッフルしては、週1回はバラバラで自由なグループで食べるなど、日本は非常に狭い考え方、すぐルール、〇〇はダメ多すぎる。							
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	22	32	4	0	2	1	61
	36.1%	52.5%	6.6%	0.0%	3.3%	1.6%	100.0%
その他 ・室内での体操より、外遊びなどに重点をおいてほしい。 ・取り組み事を知らない。 ・危ないから・・・とかが多い。							

「生活」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	25	28	6	0	1	1	61
	41.0%	45.9%	9.8%	0.0%	1.6%	1.6%	100.0%

	その他 ・味付けは甘すぎる。砂糖与えすぎ、砂糖が脳に与える影響、考えるべきでは？ ・やわらかすぎ、甘すぎ。もっと勉強しては。						
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	25	26	5	0	4	1	61
	41.0%	42.6%	8.2%	0.0%	6.6%	1.6%	100.0%
	その他 ・わからない。 ・勝手に給食を減らしていた。高い保育料を払っている、やめてほしい。 ・〇〇食べたは、連絡ノートで分かるが、楽しんでるかは不明。 ・グループ制。先生の決めたグループでなくくじとかにしては？						
基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	30	22	4	2	2	1	61
	49.2%	36.1%	6.6%	3.3%	3.3%	1.6%	100.0%
	その他 ・わからない。 ・仕上げみがきはしてほしい。						
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	28	21	8	3	0	1	61
	45.9%	34.4%	13.1%	4.9%	0.0%	1.6%	100.0%
	その他 ・特に入学前のお子さんについて、3月末まで昼寝しなくてよいと思う。 ・5歳児後半からは、お昼寝卒業に向けて取り組んでいただきたい。						
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	29	20	7	0	4	1	61
	47.5%	32.8%	11.5%	0.0%	6.6%	1.6%	100.0%
	その他 ・特に何も言っていないし、ちょっと上の子の時と違って、保育の質がおちている。 ・おむつは卒業していた為。 ・積極的に取り組んでもらった。 ・4歳からの入園なので不明。						
お子さんの体調への気配りについては	31	24	3	1	0	2	61
	50.8%	39.3%	4.9%	1.6%	0.0%	3.3%	100.0%
	その他 ・ケガとうの報告がされていない。上の子からきいているが、連絡帳記載なし。						
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	30	21	7	1	2	0	61
	49.2%	34.4%	11.5%	1.6%	3.3%	0.0%	100.0%
	その他 ・ケガの対応全く不満、笑っている、ありえない。						

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	10	20	18	10	2	1	61
	16.4%	32.8%	29.5%	16.4%	3.3%	1.6%	100.0%
	その他 ・狭さは仕方ないかなと思います。 ・トイレがとても臭い、それ以外は問題なし。 ・廊下やトイレ付近で排水溝様のおい。 ・古い、せまい。 ・園舎全体、老朽化、建て直した方がよいと思う。 ・少し古い、網戸がうごかない。 ・駐車場がない。庭がせまい。						
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	17	32	7	1	3	1	61
	27.9%	52.5%	11.5%	1.6%	4.9%	1.6%	100.0%
	その他 ・そこまでの情報は、不明。 ・楽しくやっているので落ち着いて？ ・先生の数が必要なのか、混合性が多い。落ち着かないとおもいますが・・。						
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	19	18	17	7	0	0	61
	31.1%	29.5%	27.9%	11.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他 ・柵が低いところがあるため、簡単にのりこえられそう、セコムとかはりめぐらせた方がよいと思う。						
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	18	25	13	5	0	0	61
	29.5%	41.0%	21.3%	8.2%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他 ・ただ紙をはればよいと言うものではない。						

問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	18	25	12	4	2	0	61
	29.5%	41.0%	19.7%	6.6%	3.3%	0.0%	100.0%
	その他 ・保護者の意見を聞く場にあまりなっていない。 ・平日日中開催しかないのは困る。 ・話し合いゼロ。 ・平日の1330から懇談会を行うのをやめてもらいたい。						
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	27	26	6	2	0	0	61
	44.3%	42.6%	9.8%	3.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	30	19	8	2	1	1	61
	49.2%	31.1%	13.1%	3.3%	1.6%	1.6%	100.0%
	その他 ・懇談会だが土日開催頂けると助かる。						
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	21	27	9	3	0	1	61
	34.4%	44.3%	14.8%	4.9%	0.0%	1.6%	100.0%
	その他 ・連絡帳のみ、もう少し口頭コミュニケーションあってほしい。 ・ほとんど報告ゼロ、何をしているのかと思う。						
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	20	25	14	2	0	0	61
	32.8%	41.0%	23.0%	3.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他 ・微妙なところでは、職員と非常勤の連絡がどうかと思うことあり。						
保護者からの相談事への対応には	20	27	9	3	2	0	61
	32.8%	44.3%	14.8%	4.9%	3.3%	0.0%	100.0%
	その他 ・相談したことがない。 ・こちらの話をよく理解せず、こちらがわがままを言っているかのような対応を受けた。						
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	24	20	8	5	4	0	61
	39.3%	32.8%	13.1%	8.2%	6.6%	0.0%	100.0%
	その他 ・遅くなった事がない。 ・経験なし。 ・遅くなったことがない。 ・延長の時間をもう少し長くして欲しい(2000まで等)						

問7 職員の対応についてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	33	21	5	1	0	1	61
	54.1%	34.4%	8.2%	1.6%	0.0%	1.6%	100.0%
	その他						
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	32	24	4	1	0	0	61
	52.5%	39.3%	6.6%	1.6%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	29	16	8	0	7	1	61
	47.5%	26.2%	13.1%	0.0%	11.5%	1.6%	100.0%
	その他 ・アレルギーなし。(他5件) ・障害の子に配慮がされすぎ、部外者がまきこまれている、目が届いていない。 ・肢体不自由なお子さんが転んだりする状態で、なおかつ転ぶとたしなめられる。						

話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	26	24	5	4	2	0	61
	42.6%	39.3%	8.2%	6.6%	3.3%	0.0%	100.0%
その他 ・先生による。							
意見や要望への対応については	16	23	12	6	4	0	61
	26.2%	37.7%	19.7%	9.8%	6.6%	0.0%	100.0%
その他・意見を聞かず、こうしてくれの姿勢、子供に言っていることが、保護者にはされていない。・意見や要望を出した事がない。 ・職員の休みなど労働条件が優先されての保護者の意見は軽んじられ、もっと保護者の意見を聞いて欲しい。 ・人の意見を聞く姿勢を持つべき。							

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	—	計
総合満足度は	21	32	4	4	0		61
	34.4%	52.5%	6.6%	6.6%	0.0%		100.0%

本人調査

【1歳児】(11月9日15時)

〈保育の様子・子どもの様子〉

午睡後1歳児と2歳児が乳児園庭で色々な違う小さい新幹線おもちゃで”新幹線”遊びをしていました。途中で青色の新幹線の取り合いが始まり、ケンカになり、一人の園児が大声で泣き始めました。保育士が、この色はひとつしかなくてごめんねと言いながら、この園児の涙や鼻水をふきながら宥めていたら、ほかの色の新幹線で遊び始めました。帰りに私(評価員)がバイバイと言いつつ、全員とハイタッチして別れました。

【2歳児】(11月9日15時)

〈保育の様子・子どもの様子〉

園庭での遊びを観察しました。元気よく走り回っていましたが、幼児に比べるとまだ若干ぎこちなさを感じられました。この年代の子の成長に速さを感じました。鬼ごっこのように、必死に逃げる子、追いかける子、キャーキャー言いながら走り回っていましたが、その声が本当に楽しそうでした。危うくぶつかりそうになった場面もありましたが、結構うまくかわし、大人が心配するほどのこともないのかも知れません。集団生活の中でその辺の感覚もしっかり身に着けながら成長しているようでした。

【3歳児】(11月8日11時30分)

〈保育の様子・子どもの様子〉

昼食の時間を観察しました。5～6人で一つのテーブルを囲み、「いただきます」と言って食べ始めましたが、評価員の私がいるので、いつもと感じが違い、始めは黙々と食べていました。そのうち一人が「おじさん名前なんて言うの？」の質問からはじまり、次々といろいろな話題について皆が話はじめ、あっという間に賑やかなテーブルに変わりました。家族の話やテレビの話、昨日行ったスーパーでの出来事など、思い思いの話題に花が咲きました。食べ方もいろいろで好きなものを先に食べてしまう子、交互にいろいろなものを食べる子など様々で、好みや個性を感じました。

〈子ども本人からの聞き取り〉

「好きな食べ物は？」と聞くとカレーやシチュー、ハンバーグなど食事メニューを答える子もいましたが、チョコレート、アイスクリーム、バナナなどお菓子や果物の名前を挙げる子が多くいました。まだまだお菓子に関心があることを感じました。

【4歳児】(11月8日11時30分)

〈保育の様子・子どもの様子〉

昼食時間を観察しました。献立は御飯、うどん、ひじきの煮物、お茶で保育士が盛り付け、それを園児が取りに行き、自分の席に着きました。係の園児3人の「いただきます」の言葉で食事が始まりました。隣にAちゃん、Bちゃんを含め6人が座っていて、食べ物、将来したい仕事のことや今家の状況などわいわい言いながら楽しそうに食べていました。御飯を食べた後、おかわりにひじきの入ったおむすびを「食べたい人来て」と保育士が言うと周りの園児はみんな取りに行っていました。

〈子ども本人からの聞き取り〉

Cちゃんは将来美容師さんになりたい。どうしてと聞くと、髪を切ったり、髪を整えたりすることが好きだからと言っていました。Dちゃんは、今うちにはお父さんもお母さんもないよと言うと、隣の園児は僕のうちはお爺ちゃんとお婆ちゃんしかいないよと言って、家族の話をおぼろげに話しました。

【5歳児】(11月8日 11時30分)

〈保育の様子・子どもの様子〉

保育士が3個の長方形テーブルで、食事用のテーブルを設えました。食事用のテーブルの長辺に幼児が3人、短辺に2人が座って食事をしました。メニューは白いご飯、ヒジキを煮つけたお皿、麺と卵とじ汁でした。アレルギーのある幼児には、トレーに除去食であることを示す食札が置かれていました。

準備ができた時点で、当番3人の大きな声で「いただきます」を合図に、昼食が始まりました。お喋りしながら食事が進み、保育士は食事の様子を見ながら、あれこれとお世話をし、アレルギーのある幼児には保育士が付き添い、また、よそ見ばかりして食が進んでいない子や食が細い子に、食を進めるように促していました。調理員の方も部屋に入ってきて、子どもに声をかけながら、食事の状況を見ていました。

〈子ども本人からの聞き取り〉

「来年は、小学生だね、何処の小学校に通うの」と尋ねたところ、「E小学校だよ」と返事をくれました。さらに、「隣の子も、向かいの子も、E小学校なの。Fちゃんは、G小学校なの」と会話が進みました。

事業者コメント

【第三者評価を受審査して】

今回は平成25年度を受審査から5年ぶり、子ども・子育て支援新制度が開始されて初めての受審となりました。

受審にあたり、園の自己評価をもとに評価項目ごとのグループを作り、話し合いを進めてきました。前回の受審から5年がたったことで、保育園を取り巻く環境の変化に伴い新たな課題が出てきている項目もみられました。現在の状況に見合った改善策などを検討していく中で、一人ひとりのとらえ方の違いにも気づくことができ全職員での意思統一の機会にもなりました。また、日々の保育を振り返り、職員間での共通認識を確認できる場ともなりました。

さらに平成30年度の保育所保育指針の改定時期とも重なり、保育の内容の質を高めていくための話し合いにもつながっています。

様々な環境の変化とともに今回の評価を参考にさらなる改善につとめ、これからもよりよい保育を目指していきたいと思えます。

ご多忙の中、アンケートにご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

横浜市 馬場保育園